

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-32 体育施設整備事業 □支援部門						
主管課	スポーツ課	関連課					
分野名	スポーツ・レクリエーション						
目標 (目標値)	スポーツの普及を図る。 市民のスポーツ実施率を60%にする。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数						
事業の対価							
運営資源状況	決算値(千円)	86,690	85,556	85,072			
	(国・県)			9,400			
	(負担金等)	130	156	108			
	(一般財源)	86,560	85,400	75,564			
	人員配置数	0.1人	0.1人	0.1人			
	人件費(千円)	784	812	871			
	協働のパートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	87,474	86,368	85,943			
	市民1人当りの経費(円)	492	487	485			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名→						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
一般利用(こもれび山崎温水プール)	◎	目標値	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	90,773	87,430	88,755	86,225	

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面) (千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止				
体育施設整備事業	86,563	体育施設整備事業	308	今後の方向性	○	理由・手法	・予算体系の見直しに伴い、それぞれの事業内容の見直しを行った。 ・スポーツ施設の整備に向けては、適地に係る調査を行うとともに、深沢地域国鉄跡地周辺総合整備事業におけるグラウンド整備をはじめ、総合体育館等施設整備に向けた検討を進める。	
スポーツ施設建設基金積立金	127			今後の方向性		理由・手法		
		今後の方向性		理由・手法				
		今後の方向性		理由・手法				

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	・市民やスポーツ団体から要望の高い総合体育館やグラウンド建設に向けた具体的な整備計画の取組み。 ・スポーツ建設基金に積み立てる寄附金を募るための取組み。 ・深沢多目的スポーツ広場の代替地の確保。										
課題解決のための取組	・総合体育館及びグラウンドの整備について、重点事業として位置付けられるよう施設整備に向けた取組みを検討した。 ・深沢多目的スポーツ広場の代替地確保のため、民間施設の開放について近隣企業と調整を行うとともに、施設建設に必要な整備費用の確保に向け、基金の運用を行った。					取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決				
未解決の課題	・総合体育館及びグラウンド建設に向けた整備費用と整備用地の確保。 ・スポーツ施設建設基金への寄附金をより効果的に募るため、イベント等での呼びかけなどの周知方法の工夫をするともに、企業への協力要請を検討する。 ・深沢多目的スポーツ広場の代替地確保。										
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	・深沢地域国鉄跡地周辺総合整備事業において、総合体育館・グラウンドを導入施設として位置付けられるよう引き続き要望していくとともに、既存施設の上部利用の検討や、民間企業との施設開放協議を進める。 ・深沢多目的スポーツ広場の暫定利用期間終了後の代替グラウンドの確保。 ・海浜公園水泳プールの新たな整備候補地の検討を進めるとともに、公共施設再編計画基本方針を踏まえ、施設の複合化や民間活力の導入を視野に入れた整備について検討を進める。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		→ A	
※○事業完了											

評価者名 スポーツ課長 江口 達也

